

## 第122回研究倫理審査委員会【議事要旨】

開催日時：令和4年8月4日（木） 13:30～14:30

場 所：Zoomにより開催

出席委員：（外部委員） 飯塚 雄一 委員  
秦 美恵子 委員（ご欠席）  
真玉 保浩 委員  
（内部委員） 大塚 美樹 委員長  
中川 忠彦 副委員長  
小田 美紀子 委員  
橋本 由里 委員  
平井 由佳 委員  
（記録）錦織 彩（事務部管理課）

### 議 題

#### 1. 下記申請書1件の審査

No. 373

申請者：桑原 沙希

課題名：妊娠36週以降に予定帝王切開術が決定した母親の“母親としての自信”  
の変化と助産ケア

### 結 果：【条件付き承認】

結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度審査委員会で確認させていただきたい。

#### ①研究計画書について

- ・データ収集期間、対象者数を検討すること。
- ・何施設に協力を依頼するのか記載すること。
- ・同意書・同意撤回書の保管期限を記載すること。
- ・インタビュー実施の方法について、より具体的に記載すること。
- ・インタビュー中、インタビュー後のフォロー体制について記載すること。
- ・研究資金源を記載すること。
- ・使用許諾が必要な尺度があれば許諾を取り、その旨を記載すること。

#### ②公募文書及び依頼書について（研究対象者用）

- ・研究により得られる結果等の研究対象者への説明方針を記載すること。
- ・住所の取り扱いについて、使用目的等明記すること。
- ・同意書・同意撤回書の保管期限を記載すること。
- ・公募文書の3.研究方法 研究対象者④の具体例の記載は避けること。
- ・公募文書の流れ図を分かりやすくすること（月日の目安、主語を入れる等）。
- ・依頼書の項目13～20について簡潔にまとめること。
- ・依頼書の連絡先を具体的に記載すること（どちらに連絡するか分かるように）。

### ③同意書・同意撤回書について

- ・記入後、一旦主研究者に2部とも提出してもらうこととすること。
- ・様式を再度確認し、修正すること。
- ・同意書・同意撤回書の保管期限を記載すること。

### ④インタビューについて

- ・資料10（母親としての自信の変化表）に記入例を追記すること。縦軸に補助メモリを追記すること。
- ・インタビュー実施場所について、フォロー体制も含め検討すること。

### ⑤誤字、文言の統一等について

- ・誤字を修正すること（自由意志→自由意思、資料1文中の資料番号、資料6の脱字等）。
- ・「研究対象者」「研究参加者」という文言が混在しているので、統一すること。
- ・研究協力者用の同意書・同意撤回書の文言について、「参加」→「協力」へ統一すること。
- ・資料の表題を記載し、研究計画書内の記載と一致させること（資料5、10）。
- ・網掛け等を見直し、相手にとって読みやすい文書とすること（資料5、9）。

## 2. 迅速審査で承認した申請書5件の報告

以下の5件について、迅速審査で承認された旨、大塚委員長から報告があった。

### ① No. 359 審査日：令和4年6月29日

申請者： 和田 淳美

課題名： 母親の介護を終えた娘の介護生活への意味づけ

### ② No. 361 審査日：令和4年6月29日

申請者： 山崎 郁香

課題名： やせ妊婦の妊娠の価値観形成と妊娠期間中の体重変化の過程

### ③ No. 354変更 審査日：令和4年7月15日

申請者： 高橋 梢子

課題名： LTD（話し合い）学習法を用いた「看護倫理」授業による学生の道徳的感受性の変化

### ④ No. 368 審査日：令和4年7月21日

申請者： 阿川 啓子

課題名： 先天性心疾患児の母親が経験した育児と訪問看護の解明

### ⑤ No. 370 審査日：令和4年7月28日

申請者： 亀山 良子

課題名： 干物を活用した加工製品の開発および干物の新たな活用方法の検討のための官能検査

## 3. その他

- ・大塚委員長から、前回委員会で提案された同意の撤回方法について、倫理指針を確認したところ文書を用いることが適当とされており、本学の手引きもこれに倣っていることから、現行どおりとすることが報告された。

～ 以上 ～

議事記録者名(事務部管理課：錦織 彩)